

# 北海道

北見方面

- 社会貢献活動拠出額 .....500,000円
- 社会貢献活動拠出件数 .....3件

- 総人口 .....324,719人
  - 男性 .....157,094人
  - 女性 .....167,625人
  - 世帯数 .....135,370世帯
- ※総務省国勢調査資料より(平成17年10月)

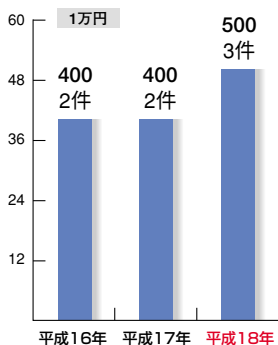


北見方面遊技業協同組合  
畑中正義 理事長

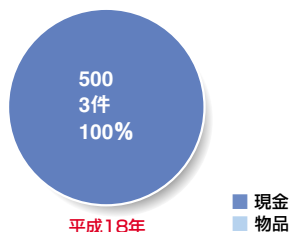
北海道

北見方面

■ 年別 拠出額と拠出件数 (単位:千円)



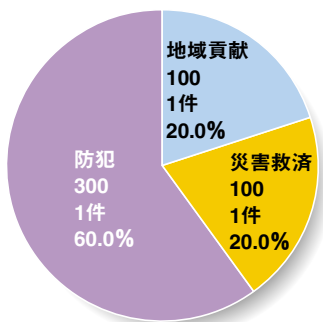
■ 平成18年 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成18年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成18年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



※物品は現金換算した金額です。  
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。  
従って合計が合わない場合があります。

## 北見市防犯協会へ 30万円の寄付金を贈呈

北見市防犯協会へ30万円の活動支援金を寄付した。寄付を通じて、地域の安全向上に貢献した。

- 「北海道献血1,000人キャンペーン」の実施
- 北見消防後援会へ10万円を寄付

## 佐呂間町竜巻災害の義援金として 10万円を寄付

11月17日に佐呂間町で発生した竜巻災害の義援金として、10万円を社会福祉法人北海道共同募金へ寄付した。被害地域の復興活動を支援した。

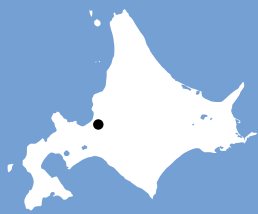
## 活動の現場から 地域の人たちに喜ばれるよう活動に取り組みたい

2006年は、全国的に地震、大雨、竜巻などの自然災害が多く発生しました。当方面でも佐呂間町で竜巻災害が起こり、深刻な被害に心を痛めました。当組合でもすぐに義援金の拠出を決め、災害復旧の一助にさせていただきました。

店舗数55店と全国でも一番小さい組合のため、高額な寄付は難しいですが、少しでも地域のみなさんに喜んでいただけるよう、人的協力も含めて活動に取り組んでいきたいと思っています。



北見方面遊技業協同組合  
副理事長  
温山壽男



# 北海道

札幌方面

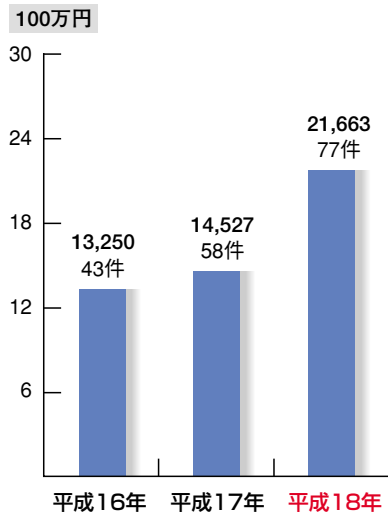
- 社会貢献活動拠出額 .....21,663,021円
- 社会貢献活動拠出件数 .....77件

- 総人口 .....3,379,993人
  - 男性 .....1,608,177人
  - 女性 .....1,771,816人
  - 世帯数 .....1,451,159世帯
- ※総務省国勢調査資料より(平成17年10月)

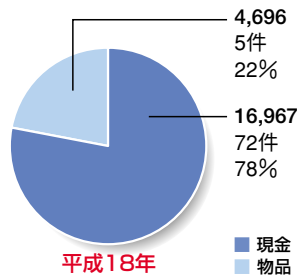


札幌方面遊技事業協同組合  
鶴見正明 理事長

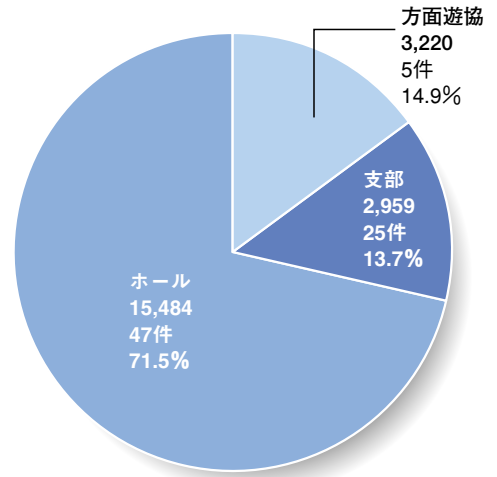
■ 年別 拠出額と拠出件数 (単位:千円)



■ 平成18年 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



## 災害が発生した際、駐車場を無償提供する協定を締結

冬季に災害が発生した際、岩見沢遊技協同組合加盟店14店の駐車場を救援車両などの待機・保管のために無償提供する協定を岩見沢市と締結。道内初の取り組みとして注目された。



「北海道新聞」提供:掲載された記事

## 暴力追放総決起大会・パレードに参加・協力

北海道暴力追放推進協議会が主催する暴力追放総決起大会・同パレードに、組合員約300人が参加・協力した。



「暴力追放」の旗を手に、街中をパレード

## 駐車場での子供の事故防止啓蒙のためポケットティッシュ40万個を配布

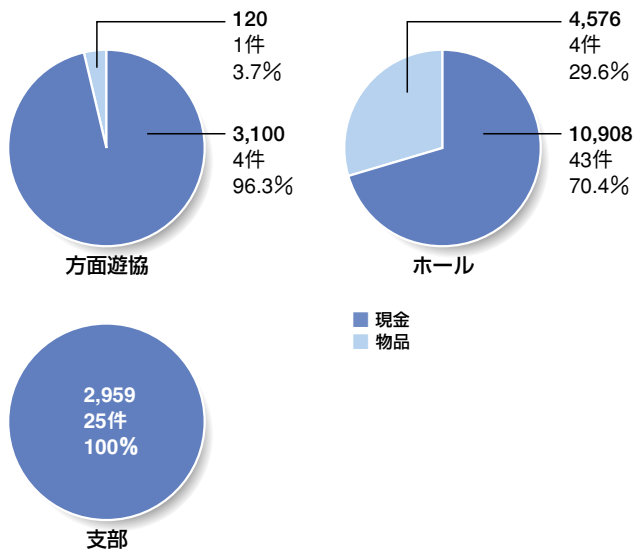
熱中症による子どもの車内事故防止や、駐車場等での車上荒らし防止を啓蒙する目的で、ポケットティッシュ40万個をホール来場者等に配布した。



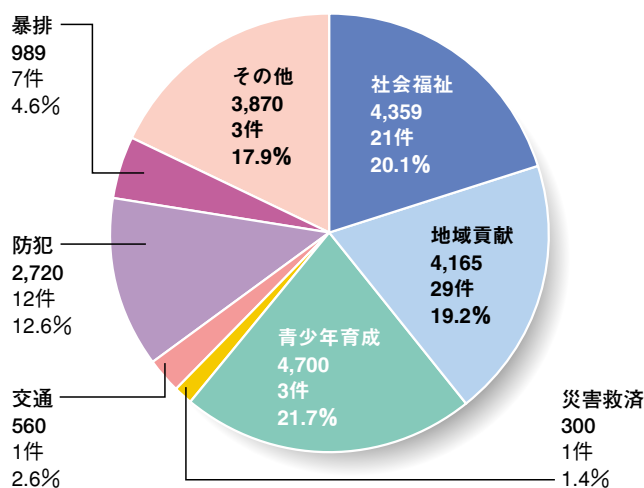
配布されたポケットティッシュ

※物品は現金換算した金額です。  
 ※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。  
 従って合計が合わない場合があります。

■ 平成18年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



### 各種団体の運営資金助成のための 応援基金を創設

室蘭・登別遊技場組合が、地区内で活動する各種団体に対する運営資金助成を目的とした応援基金を創設。「室蘭視力障害者友の会」をはじめ、10団体に応援資金を贈呈した。



「室蘭民報社」提供:掲載された記事

「室蘭民報社」提供:  
 掲載された広告



- 町内の老人ホームを定期的に訪問、入所者のパチンコ大会を実施
- 車いす普及のため、アルミ缶のプルタブを集め地元小学校に寄贈
- 駐車中の車内における子どもの事故防止等を目的とした「見回り隊」による見回りの実施
- 室蘭市内の盛り場における少年補導活動に参加・協力
- 町内公園の清掃や道路脇のゴミ拾いの奉仕活動を定期的実施
- 歳末に向けた街頭少年補導活動に組合員12名が参加・協力
- 室蘭・登別防犯協会主催の街頭啓発活動に組合員10～12名が参加し、リーフレット配布等に協力

### 活動の現場から 「治にいて乱を忘れず」の気持ちで災害時に備える

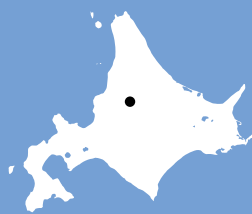
岩見沢地区遊技業組合では、自然災害時に備え岩見沢市と「大規模災害時の協力協定」を締結しました。

協定は、冬期間に災害が発生した際、加盟ホールの駐車場を救援車両の待機などに使用できたり、水道や電気設備を実費で使用できたりするものです。調停式の際、渡辺岩見沢市長が学生時代に培ったパチンコの腕を披露して、会場が和んだ場面も見受けられました。

本来、この協力協定が実行されないことが理想ですが、依然各地で

自然災害は発生し、被災した多くの人々が不自由な暮らしを余儀なく過ごされています。「治にいて乱を忘れず」のことわざ通り、普段から最悪の事態に備えなければならないことを実感しました。今後もこのような気持ちを忘れずに活動を進めていきたいと思っています。

札幌方面遊技事業協同組合 事務局長  
 高橋秀文



# 北海道

旭川方面

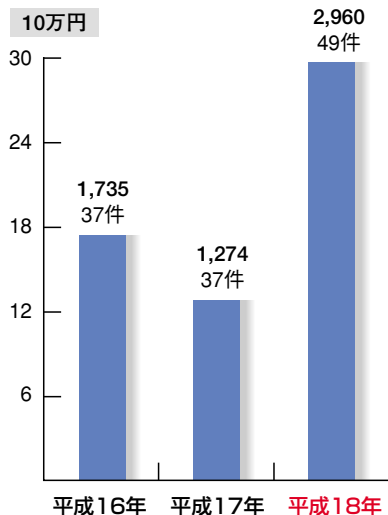
- 社会貢献活動拠出額 .....2,959,809円
- 社会貢献活動拠出件数 .....49件

- 総人口 .....751,748人
  - 男性 .....355,582人
  - 女性 .....396,166人
  - 世帯数 .....311,371世帯
- ※総務省国勢調査資料より(平成17年10月)

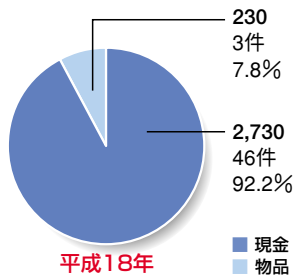


旭川方面遊技事業協同組合  
田中亀雄 理事長

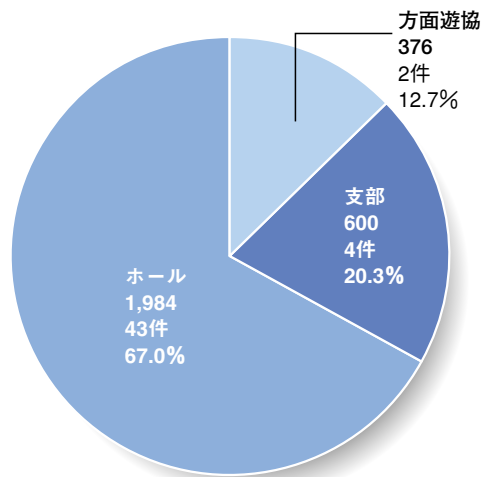
■ 年別 拠出額と拠出件数 (単位:千円)



■ 平成18年 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)

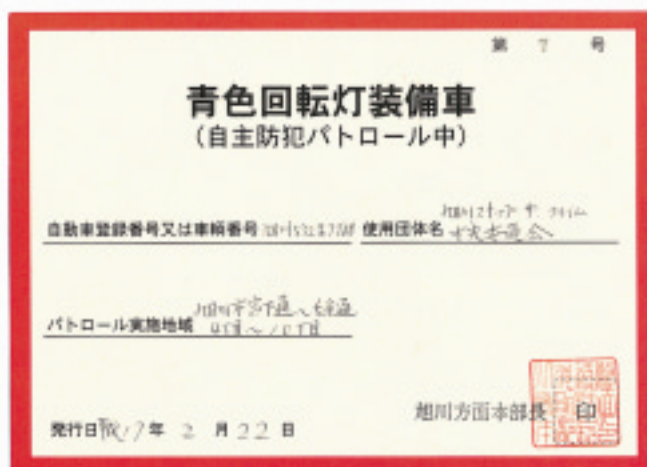


## 青色回転灯を装着した自動車で 防犯パトロールを実施

他組合2団体と「旭川ストップ・ザ・クライム中央委員会」を結成。北海道警察旭川方面本部長から許可を受け、組合の自動車に青色回転灯を装着し、防犯パトロールを実施した。



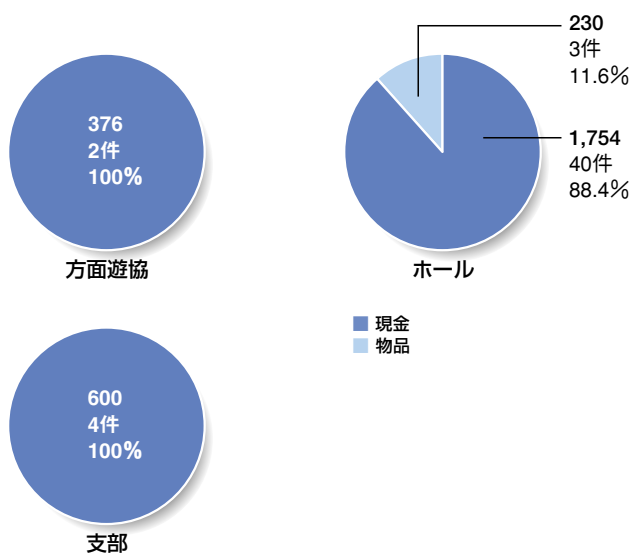
防犯パトロール中のステッカーを装着し、巡回を行った



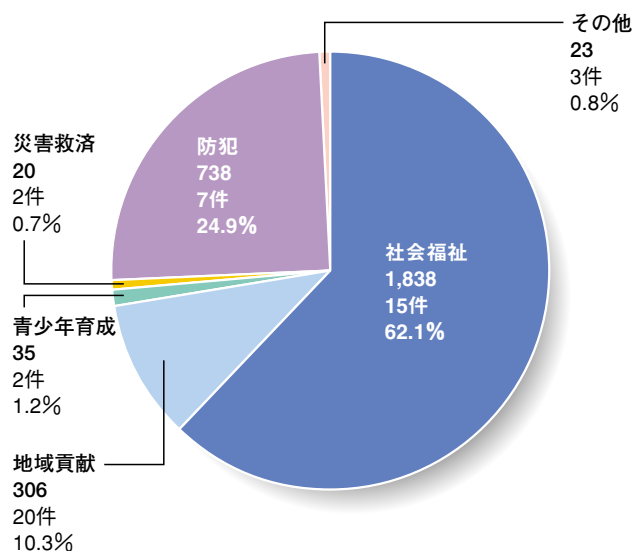
北海道警察旭川方面本部長より青色回転灯装備を許可された

※物品は現金換算した金額です。  
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。  
従って合計が合わない場合があります。

■ 平成18年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



## こぼれ玉募金を実施

### 旭川市長から感謝状を贈呈

こぼれ玉や来場者の善意による玉・コインを集める「はあーとふるBOX募金箱」を各ホールに設置。1か月半で275,609円を集めた。旭川市社会福祉事業基金に寄付し、市長から感謝状が贈られた。



旭川市長から贈られた感謝状

- 各警察署・地域防犯団体と合同で地域安全市民集会および防犯街頭啓発活動を実施

## 活動の現場から 今後も地域社会へ貢献し続けたい

「献血1,000人キャンペーン」を2か月間かけて実施しました。

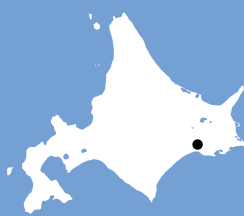
特定日に移動献血車をホールまで呼ぶ方法と、ホール従業員が日赤西部献血ルームおよび旭川赤十字献血センターで献血を行う方法で実施しました。

数年前から実施しているこの活動は、従業員の間に年々浸透しているのを実感しています。さらなる定着を目指して来年以降も継続して活動を続けていきたい

と思っています。また、青年部がないため、事務局として活動していますが、少ない人数ながらも今後とも地域社会へ貢献していきたいと思っています。



旭川方面遊技事業協同組合  
事務局長  
佐藤幸夫



# 北海道

釧路方面

- 社会貢献活動拠出額 .....4,805,000円
- 社会貢献活動拠出件数 .....54件

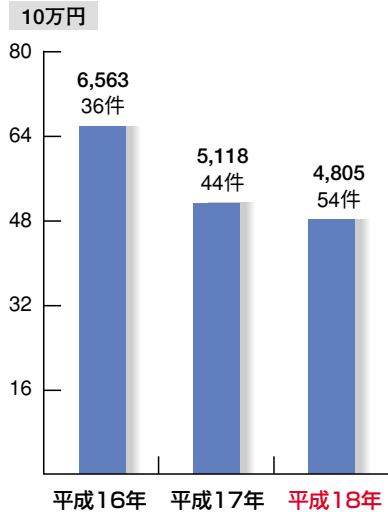
- 総人口 .....700,065人
- 男性 .....335,669人
- 女性 .....364,396人
- 世帯数 .....285,957世帯

※総務省国勢調査資料より(平成17年10月)

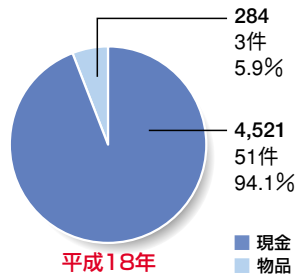


釧路方面遊技業協同組合  
中村和利 理事長

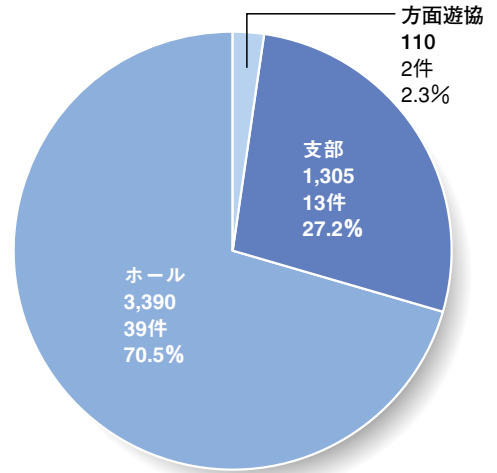
■ 年別 拠出額と拠出件数 (単位:千円)



■ 平成18年 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



## 「献血1,000人キャンペーン」に協力

北海道遊技業協同組合連合会が主催する「献血1,000人キャンペーン」に協力。当初の目標200名に対し、281名のホール従業員等が献血を行い、達成率141%となった。



ホール駐車場での  
献血車



献血運動に協力する  
ホール従業員

## 高齢者300名を招待し 老人パチンコ大会を開催

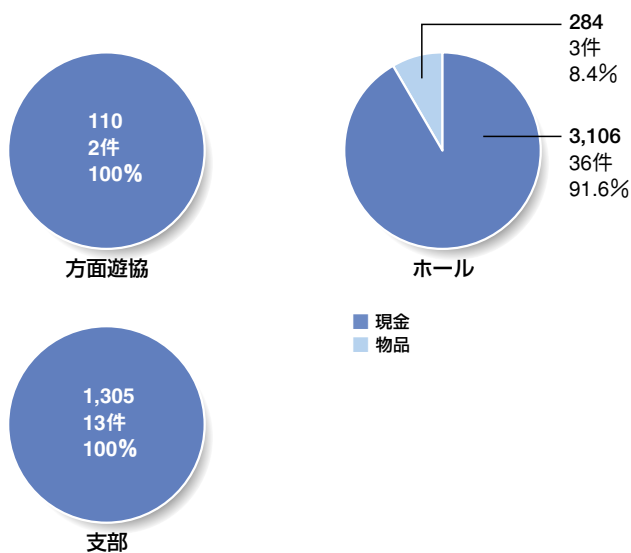
ジャパン中標津店が主催となり、老人パチンコ大会を開催。9月に定休日をもうけて、近隣の老人クラブ等から約300名の高齢者を招待した。



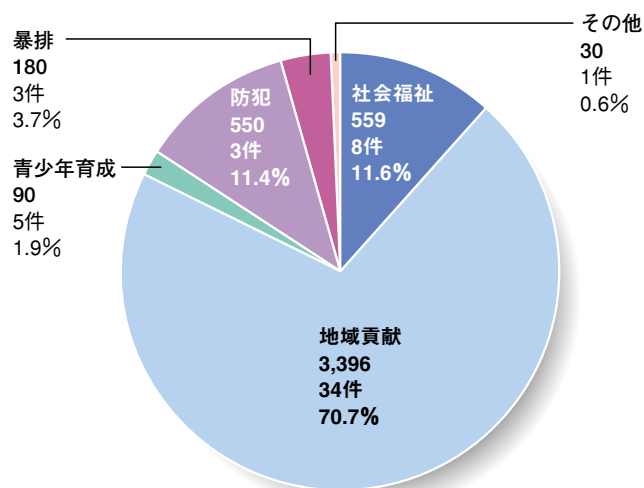
パチンコ大会を楽しむ高齢者

※物品は現金換算した金額です。  
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。  
従って合計が合わない場合があります。

■ 平成18年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



## 「釧路大漁どんぱく」にバザー出店

釧路地区の秋祭り「釧路大漁どんぱく」のメイン会場に、ビールやラムチャン等の屋台をバザー出店。また花火大会に3尺玉花火を提供した。

● ホール近隣の草むしりやゴミ拾い等、清掃活動を実施



ラムチャンを出店



株式会社忠和商事が提供した3尺玉花火



にぎわう会場の様子

## 活動の現場から 地域活性化を目指して「情熱」を伝えていきたい

地域の活性化を図るため、私たち遊技業組合員は、先導者として意識的に、精力的な活動を行ってきました。

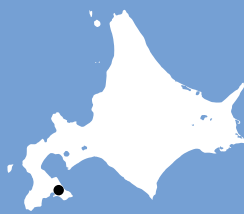
「釧路大漁どんぱく」では、花火大会や、焼きさんまをはじめとした旬の味覚の提供、野外ライブ等の釧路地区を挙げての一大イベントに実行委員会の一員として参加し、他企業や他業種の方々とともにイベントを成功させるという貴重な体験をするこ

とができました。

今回の体験を通じて、アイデア次第で地域活性化が自分たちの手で実現できることを実感しました。スタッフ陣の並々ならぬ地域に対する「情熱」があったからこそ、イベントを大成功に収めることができたのだと思います。今後もさらなる地域発展を目指し、「情熱」を一人でも多くの方々に伝えていきたいです。



株式会社忠和商事  
統括本部長  
古川保仁



# 北海道

函館方面

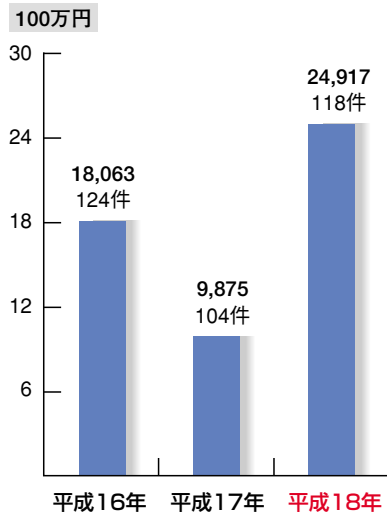
- 社会貢献活動拠出額 .....24,917,291円
- 社会貢献活動拠出件数 .....118件

- 総人口 .....505,568人
  - 男性 .....234,832人
  - 女性 .....270,736人
  - 世帯数 .....210,354世帯
- ※総務省国勢調査資料より(平成17年10月)

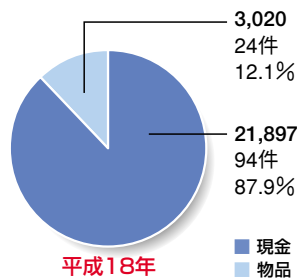


函館方面遊技業協同組合  
光金守弘 理事長

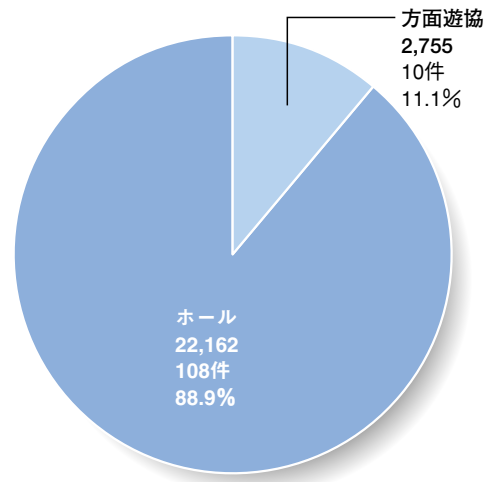
■ 年別 拠出額と拠出件数 (単位:千円)



■ 平成18年 現金・物品の割合 (単位:千円)



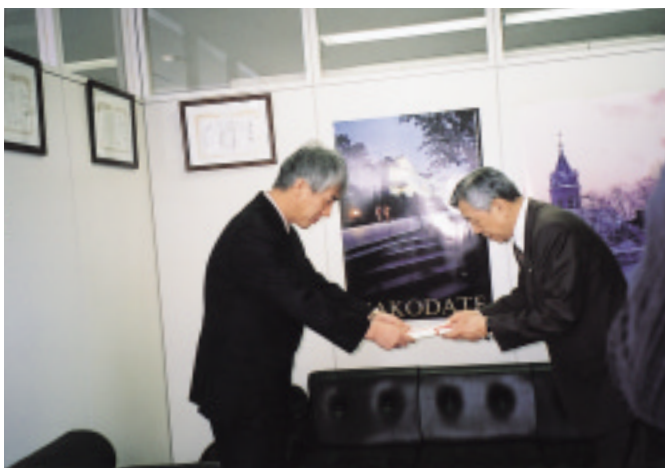
■ 平成18年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



## 社会福祉のため、各ホールから集めた

### 「愛の玉」基金130万円を寄付

高齢者の社会福祉に貢献するため、各ホールから集めた「愛の玉」基金より、函館市、北斗市、七飯町の各社会福祉協議会へ130万円寄付。函館市社会福祉協議会から感謝状が贈られた。



「愛の玉」基金130万円を3つの社会福祉協議会へ贈呈

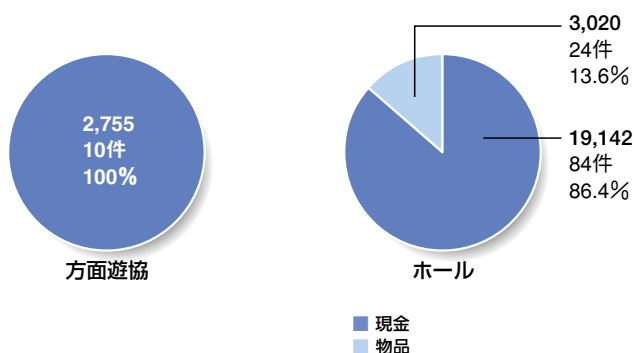


函館市社会福祉協議会から贈られた感謝状

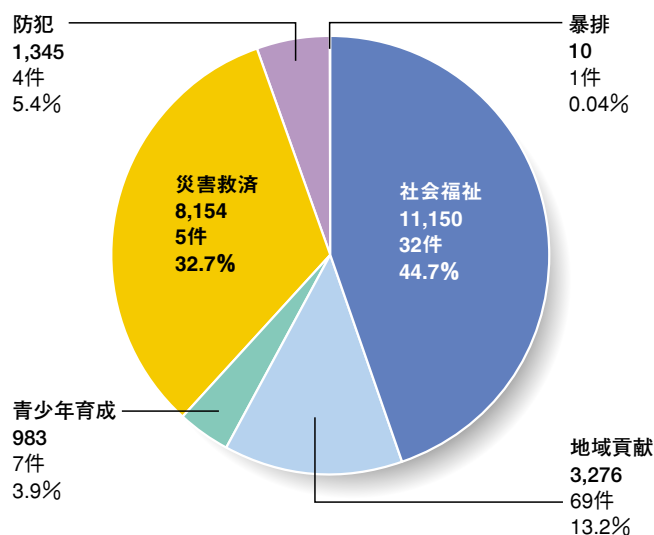


※物品は現金換算した金額です。  
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。  
従って合計が合わない場合があります。

### ■ 平成18年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



### ■ 平成18年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



### 「献血1,000人キャンペーン」に 経営者や従業員ら386名が協力

「献血1,000人キャンペーン」を北海道遊技業協同組合連合会と共催。協力を呼びかけ、5月から7月までの約2か月間に、経営者や従業員、関係各業者等386名が献血に協力した。



採血車による献血活動

- 「2005社会貢献活動年間報告書」を各組員ホール・主要官公庁、社会福祉協議会、赤十字血液センター等に配布して広報活動を実施
- 「リングプル回収運動」に参加し、来場者等から集めたリングプルを寄贈
- 地元企業と連携して店舗駐車場を無料開放。地場産の野菜を販売
- 靴を1足300円で洗濯し、活動資金にあてるという知的障害者授産施設の事業に参画。従業員、来場者60人分(18,000円分)を依頼
- ホールに募金箱を設置し、スマトラ沖地震で被害を被った人への募金活動を実施。スリランカへの義援金として800万円を寄付
- ホールに募金箱を設置し、ジャワ島沖地震被害者への募金活動を実施。来場者、従業員等から集めた84,827円を日本赤十字社へ送金
- 北海道警察函館本部の管轄内警察署に所属する各防犯協会に、防犯活動支援として、約130万円を函館方面防犯協会連合会を通し寄付
- 「敬老の日」に老人ホームへ従業員手作りのクッキーをプレゼント
- 地域の商店等と連携し、駐車場を無料開放してフリーマーケットを開催

#### 活動の現場から

### 関係者全員に献血協力を目標に頑張りたい

北海道遊技業協同組合連合会が主催した「献血1,000人キャンペーン」事業に共催して、活動を行いました。

5月19日から7月18日の2か月間行い、6か所のホールを拠点として移動献血車の運用を図りながら、各ホールの管理者、従業員、ホール関係者などに呼びかけました。最終的には、386人の献血協力者を得ることができました。

献血の協力をお願いするとき、いざ実施するとなるとなかなか難しいものだ、声をかけるたびに痛感しています。

今後は関係者全員に協力をしてもらうことを目標に頑張っていきたいと思います。



函館方面遊技業協同組合  
事務局長  
大倉 宏一